

人口総数	67,425	世帯数	18,947
男	32,147	面積	16.07km ²
女	35,278		

芦屋市民憲章

わたくしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきざましよう
- 自然の風物を楽しみ、まちを緑と花でつつましよう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てよう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう

新時代への飛躍を

芦屋市長 渡辺万太郎



新たな発展の年が明けました。市民のみなさま待望の海浜埋立事業が県の手で昨年末から着手されるなど、わが芦屋市も、新しい時代への移行にふさわしい「飛躍」への足音を聞きながら一九七〇年を迎えました。わたくしは、かつて、市政飛躍のための充実に努力を傾け、着実に行政の直しと足固めにすべての姿勢を正してきました。その後ようやくにして飛躍への転機を迎え、充実に飛躍へと新しい事業をプロジェクトし、あらゆる都市機能の充実に向かって前進を続けてまいりましたことは、まったくみなさまのご協力の賜ものと存じ、感謝にたえません。本年こそは、さらに新時代へ飛躍する年です。恵まれた芦屋の自然の美を愛し、これに人工の美を加

えて調和のとれたよい環境を守る市民みなさまの努力を尊重し、このすぐれた生活環境にいまひとつ、市民の連帯感と申しますか、郷土を愛する人間の美が一体となった質的転換を志向する「新しい芦屋」の建設こそ七〇年新時代へのスタートであると確信し、行政の中で重要な課題としてその対策を進めたいと思っております。

人口十万人を理想とする環境ユニットを考える芦屋の都市づくりには、住民健康確保の問題、交通・公害の対策、住宅環境の整備、上・下水道の完備等々都市機能充足のため、まだまだ開発のプログラムは残されています。コンパクトで、美しい環境をもち、あらゆる都市機能がそろう、市民の生活がたいせつにされ、市民福祉の充実した住みよい芦屋のまちづくりを単なる新春の夢とせず、未来の可能性を信じ、ためめ努力を続けたいと思っております。

市民のみなさまのご健康とご多幸を、心からお祈りいたします。

おめでとうございませう
芦屋市

市民のみなさま、明けましておめでとうございます。本年はあたかも本市が市制を実施し精道村から芦屋市となつてから、三十年目にあたる記念すべきめでたい年でございます。また、ご承知のとおり安楽問題の年でもあり、万国博覧会が大坂で開かれる年でもありまして、わが国にとりましても、わが芦屋市にとりましても、内外ともに多事多端であるとともに、飛躍の期待される年であると存じます。

新年のごあいさつ

芦屋市議会議長 神井清太郎



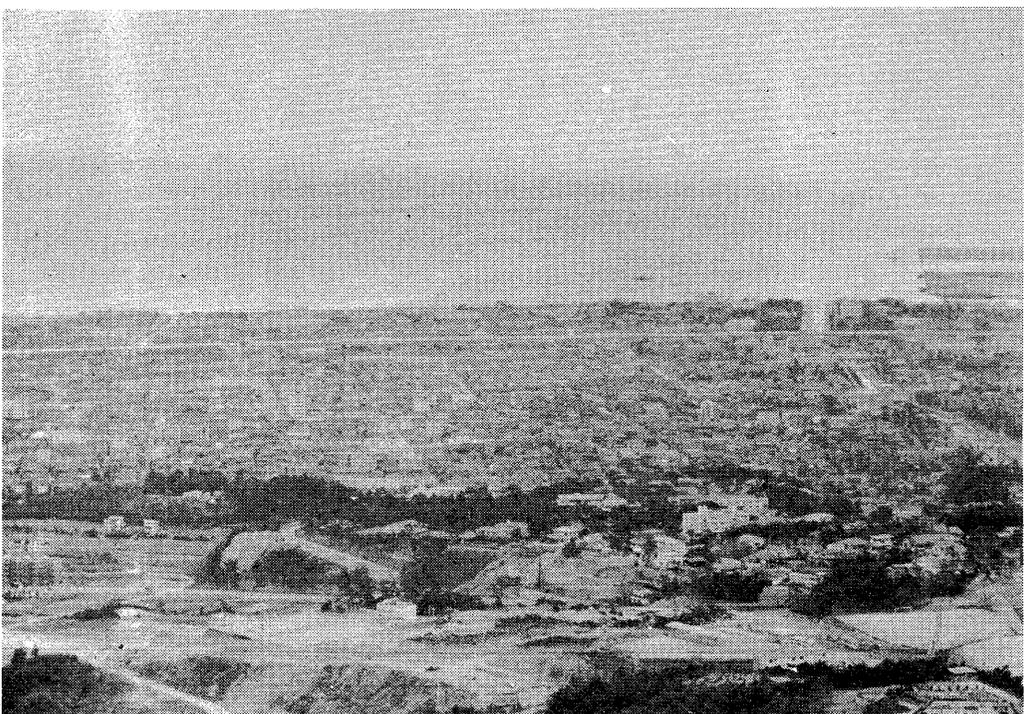
努力を傾倒する覚悟でございます。

わたくしは、この意義深い年を迎え、さらに自覚を新たにいたしまして、昨年から引き継いだ事業をはじめ、昨年度に計画されている諸事業・諸施設が、市民のみなさまの生活安定と福祉の増進、ひいては市勢の進展に寄与できるよう最善の努力を傾倒する覚悟でございます。

年頭にあたり、みなさまのご多幸と芦屋市の発展を衷心より願ひいたしまして、ごあいさついたします。

ここに芦屋の未来が 緑を守る山ろく、進む埋立

市街地をはさんで、山ろく地帯では新市街地造成が進み、海浜でも埋立がはじまりました。その姿は、新時代への飛躍をめざす芦屋を象徴しています。



あすへの市街開発 (手前は北部土地区画整理事業、向海こ) (うは埋立の基礎作業に着した)

国際文化住宅都市である芦屋はその名の通り国際的な視野で都市の機能、施設を充実させていかねばなりません。あくまでも住宅都市としての良好な環境を保持し続けるという目標は、まごの開発課題の中心となっている北部土地区画整理事業は、まごの中心として市街地造成においても変わることとはありませぬ。

山に九十万平方メートル

北部土地区画整理事業は、朝日ヶ丘町、東山町、それに岩園、山手、東芦屋各町の一部にまたがる山ろく地帯九十万平方メートルの区域で道路、公園、水路などの公共施設の整備と改善を進めるとともに、新しい市街地を造成する事業です。昭和三十六年の着手以来、本年度末をもって七五パーセントができておることとなるこの大事業をふり返つてみますと、三十八年五月に、山ろく地帯開発の足がかりとして最初にとりかかっていた幹線道路「山ろく線」の一部を開通させて以来、きわめて順調に区域内の様相を変えてきました。四十二年の「朝日ヶ丘線道路」の完成、昨年の「山手線道路」の着手、そして「山ろく線道路」もほとんど完成に近づいたほか、市民プールや公園などお目見えしました。市民の新しい住宅は、すでに六百戸ほどが竣工をこらし、市営住宅も建ち並びつつあります。こうした宅地の間を縫う補助幹線道路もほとんど全部の区域にできてきました。

本年度のこの事業は、幹線と幹線を結ぶ道路網の整備を進め、約二六〇メートルにわたって舗装しました。また本年度からは、いよいよ山手幹線道路の工事に着手してきており、住宅十数戸の移転と山手排水路をつくることを始めています。このほか、朝日ヶ丘町にある養護老人ホーム和風園の南側に、公園敷地三千三百平方メートルを整地中です。

ことし四月からの新年度の北部土地区画整理事業は、山手幹線道路がその重点で、延長六百メートルの幹線道路とここににつながる道路網整備とにかかっています。昭和四十六年度は、昭和四十六年度は、この事業計画の最終年度です。舗装工事など道路整備を中心に総仕上げはまいります。事業を計画的に進めていくうえでわけてい



トピック

宮川小のプレハブ校舎完成

昨年十一月二十四日の火災で校舎の一部を失った宮川小学校に、仮校舎ができました。これは、平家建てのプレハブ校舎二棟十教室で、机やイスなどの必要な備品も整え、八日の新学期を待つています。また、青少年団連絡会と子ども会連絡協議会の「図書を贈る運動」で集まった約三百冊をはじめとして、これまでに全部で約千四百冊の図書が寄せられました。このほか市内の学校や団体、ご家庭から暖かい援助をいただいています。

鉄筋の本校舎復興までは、まだまだしばらく期間がかかります。焼け跡の片づけ、仮校舎の完成、本校舎の建設へと、自分たちの学校が立派に復興していく姿から子どもたちは多くの何ものかを学んでいくことでしょう。しかし、それにもまして、周囲のかたがたからのご厚情は、いつまでも子どもたちの心の中に生き続けることと思ひます。

(写真は完成したプレハブ校舎)

海に百三十万平方メートル

いまご説明してきました事業によって、新市街が形づくられつつある山ろく地帯からは、芦屋の海浜がきれいに見えます。ここでは、埋立の基礎作業がはじまっています。

県が、プロジェクト・チームを編成し阪神港構想の一環として昨年着手した本市の海浜埋立事業につきましても、前号の広報で詳しくお知らせしましたように百二十八万平方メートルを埋立造成して、この間新しい市街地をつくらうと意うものです。その区域は、西側が芦屋川尻から四百五十八坪沖合まで、東側が江尻川河口から八百六十二坪沖合まで、その先端を結ぶ前面が一六六六坪となり、幅が約一六六六坪、長さ約一六六六坪の幹線道路とここににつながる道路網整備とにかかっています。昭和四十六年度は、昭和四十六年度は、この事業計画の最終年度です。舗装工事など道路整備を中心に総仕上げはまいります。事業を計画的に進めていくうえでわけてい

新成人を祝う会

とき 1月15日(祝) 午前10時~11時30分
ところ 精道小学校講堂

①記念式
②講演「スポーツと考えること」 岡野俊一郎氏
③軽音楽「タンゴメドレー」ほか 芦屋ポップスオーケストラ

対象者 昭和24年4月2日~昭和25年4月1日に生まれ、芦屋市に住民登録されている方。対象者の方には年賀状でご案内しましたが、もし5日までに届かなかったら、市立公民館電話04995へご連絡ください

ご成人 おめでとう 希望の 船出だ

祝日は国旗を掲げよう

ルナホールの使用料きまる

使用は中旬申込みはから

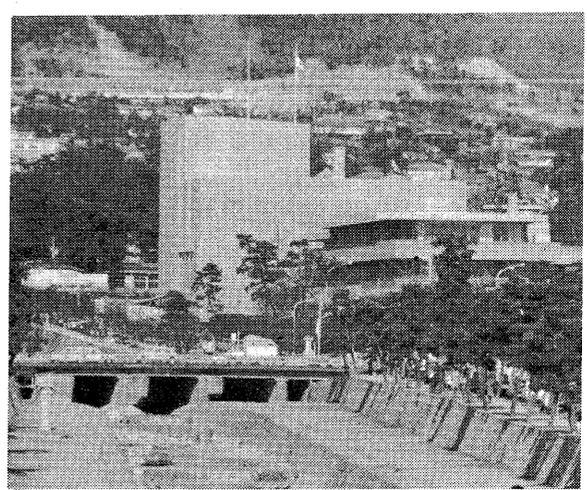
四角の巨大なコンクリート壁の外観を現わした「ルナホール」は、いま、四月八日の開場をめぐり、内装仕上げ工事を急いでいますが、これに先立ち、昨年十二月に開かれた第七回定例市議会で、使用料（若原市民会館条例の一部改正）が決められました。市民のみならず、市民のみなさまにご使用いただくのは四月中旬から、今月から使用申し込みを受け付けます。

「ルナホール」は舞台の形をい、大ホールの舞台をそのまま移したような風に変化でき、さまざまな形で、移動式の照明器具を備え、催しものに応じて全国の事例でも例大ホールを使うつもりで練習してないユニークなホールです。市にただけるようになっていっています。市民会館では、どなたにも親しんでいただけるように、備品の整備や運営方法の細部にわたる打合せ、小規模の音楽会や講演会場にも向いていっています。楽屋は四人室から五十人室まで各種あり全部で百十九人収容できます。

大ホールの収容人員は、舞台の形によって七百人から九百人、観客と舞台が一体となるよう設計されており、このなかで、他都市とはちがったユニークな暖房料にあたるもので、午前、午後、夜間の使用区分をそれぞれに定めています。

使用料金表の見方

下の表は基本使用料で、使用回数によってそれぞれ次のようになります。



一段高いところが「ルナホール」の舞台にあたります

なお、②と③を同時に行なうときは④を適用します。

④市外の人を使うときは、大ホールと楽屋は基本使用料の五割増し、小ホールは十割増しです。

⑤入場料をとる催しに使うときは、入場料が五百円以下なら基本使用料の三割増し、五百円以上なら五割増しです。

⑥営利につながる展示（即売は禁止）のために使うときは、基本使用料の三割増しです。

⑦引き続き四日以上使うときは、曜日、日時などを四日以上指定して使うときは、基本使用料の二割増しです。

今回の大ホールの工事で、一応市民会館の拡充計画はすべて終ることになりますので、この工事とあわせて、現在の市民会館二階ロビーの一部を食堂に改造したり、大ホールをプロジェクターでつないだりするなど、こまかな全館整備もしています。これに伴って、今月から本館の各々の名称も階数を百の位で表わし、二階なら二〇一室、一〇二室、一階なら一〇一室、一〇二室に改めました。また展示ロビーも特定用途などの使用料の計算方法も一部変わりました。詳細については、市民会館（電話四九九五）へおたずねください。

市民会館使用料金表

室名	収容人員	空室料(1回ごと)	基本使用料金(円)					
			午前9時~12時	午後1時~5時	午後6時~10時	午前9時~午後5時	午後5時~10時	全日9時~10時
大ホール	平日	700人	9,000	12,000	15,000	18,000	23,000	30,000
	土日祝	900	10,500	14,500	18,000	22,000	28,000	36,000
地小ホール	平日	200	2,000	2,400	3,000	4,000	4,800	6,200
	土日祝	200	2,400	3,000	3,600	4,800	5,800	7,400
大楽屋	50	300	500	500	500	800	800	1,200
中楽屋	30	200	300	300	300	500	500	700
下手楽屋	20	100	200	200	200	300	300	500
幹部楽屋	4	100	300	300	300	500	500	700
上手楽屋	15	100	200	200	200	300	300	500

善意銀行

十一月二十一日から十二月二十日までの取り扱い分。敬称略。

預託【金銭口座】和風園へ千円
林垣良恵△社会福祉のために三万円
田中功夫△同五万円、中沢五郎△同一万円、一市民△同三万円
日本女子大学桜風会△同三万円
【物品口座】市内の方へ服地品、鈴朗会△同新生児産衣五組、タオル四枚、中村美穂△同衣料品二十点
一市民△同衣料品十五点、一市民△同衣料品十一点、一市民△市内の施設へ自動食器洗い機、松原照△市内の恵まれない方へ収穫感謝祭のお供物果物、野菜など五百七十九点、愛光幼稚園【技術口座】三味線と舞踊を、龍田金梅君

払い出し【金銭口座】母子家庭クリスマス会参加お菓子代として五千元【物品口座】自動食器洗い機を三田谷治療教育院へ△収穫感謝祭の果物、野菜を和風園と老人憩の家のお年寄りに【技術口座】田鎖浜一氏の奇術を手をつなぐ親の会に△尾崎和菜氏の淡路人形浄瑠璃を東南クラブと琴ヶ丘とに△前川幾二氏らの歌と踊りを老人憩の家歳末慰安会に。

△寄贈 社会福祉のために市社会福祉協議会へ。敬称略。
△十万円、中山トキ▽五百円、市内主婦M▽五百円、市内一主婦。

朝日ヶ丘縄文人

数千年前縄文にいた祖先の生活が、近代化された住宅都市の土中の遺跡からわかってきた。昭和三十九年冬、県立若原高校の一生徒が若原病院の南に通ずるバス道の工事現場で黒褐色の土器をみつけた。それは、若原市の歴史が約六千年前の縄文式文化期にさかのぼることを実証する貴重な手がかりとなった。

石矢じりを主とする石器が多数採取されたけれども、土器や遺物の発見はなかった。数千年におよぶ縄文式文化は早期から晩期まで五つの時期にわけられている。朝日ヶ丘遺跡の発掘調査によって、百数十本の石矢じりをはじめ、皮はぎ、石おの、と石などの石器や、わずかの早期の土器と多量の前期の土器が出土し、また住居跡らしい床面が発見された。このことから、朝日ヶ丘は数千年前縄文文化の開始とともに人類の生活の場となったことが考えられる。朝日ヶ丘は早期と前期の遺跡であるが、市内からは

跡であるが、市内からはこれ以後の時期の遺跡は全くみつからなかった。いつか朝日ヶ丘の縄文人はどの地へ去っていったのだろうか。

縄文時代は、原始的な採集経済の社会で、農業や牧畜もなく、自然の産物だけに生活をゆたかた。気流、気温のともよい朝日ヶ丘でも、地表下約二メートルの深さで発見された遺跡である。

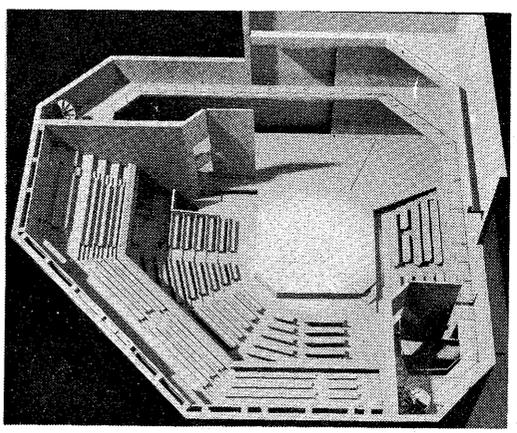
とを考えると、自然のようすや生活の舞台にいつのときか大きな変化があったと考えられる。たいへん古い時代の若原の開拓者であった朝日ヶ丘縄文人の足跡は、いま、近畿地方の縄文文化を知る上で欠かすことのできない価値をもっている。

弥生人がそこに住んでいた縄文式文化を母胎として大陸文化の影響をうけて発生したのが弥生式文化である。海岸近くの低湿地で尼崎市田能遺跡の土器が生活の営んでいたことが、渡来品の銅製品やガラス小玉、多くの鉄器類などのすぐれた出土品、そして集落の遺構やその立地条件から、大

阪湾沿岸の海上支配権と何らかの関係をもつ非生産的な人びとの集落と考えられており、近畿地方における弥生文化圏を解明するためのたいせつな意義をもっている。

若原のあけぼの―それは、はるか縄文文化期から弥生文化期を経て、阿保親王塚や金津山、八十塚などの古墳時代へ、さらに奈良時代の若原院寺へと、開拓者たちのたゆまざる努力によって大きな文化の成長をみながら引き継がれていくのである。

(次号には、第二回目として伝教文化を掲載します)



『ルナホール』物語④

写真的に、三方の客席に囲まれた、あけぼの四角な舞台が中央にあります。ステージの上には、フルコンサートピアノといすが演奏者を待っています。わたしてはいると、待合ロビー(ホワイエともいいます)がL字形に広がっています。天井も壁も床も黒、そのムードに変化を与えています。天井、壁、床を斜めに横切る吉原治良先生(公光町にお住まい)デザインの太い白線、両

象は、最後列といつても前から三列目、手の届きそうなところに舞台があり、この場所です。客席にすわっても、よく見えよく聞けるだろうということ。場内を見まわすと、よそでは見えないステンレス金網の天井、壁です。それに、赤、青、緑の蛍光灯の光線が当たり、金網にさまざまな虹模様を染め出しています。聴衆は、舞台の三方と二階とにいますが、ざっと七百余、大劇場にすわって数千人の中に埋没してしまふ感じはなく、じつくと音楽を鑑賞できそうです。

虹の照明がだんだん暗くなり反対にステージがひととき明るく照らし出されました。スポットライトに迎えられて、チェロ奏者が伴奏者を従え舞台に歩を進みます。三方からの拍手が止まりました。序奏に続いて心にしみるようなチエロの音が流れってきました。低音から高音まですばらしい音響効果です。ソリストの表情、指の動きが最後列にすわっているわたしたちも手にとるようです。

あけぼのの開拓者



復元された会下山遺跡から市街地を望む

ろ、山手中学校北側の会下山(えげのやま)の標高約二百メートルの山頂の尾根に五十人ほどの人間が七軒から八軒の家に住み、祭壇場、屋外で動物を調理する場所、殺物を貯蔵する倉庫、外敵の侵入を防ぐ柵、ごみすて場、丁

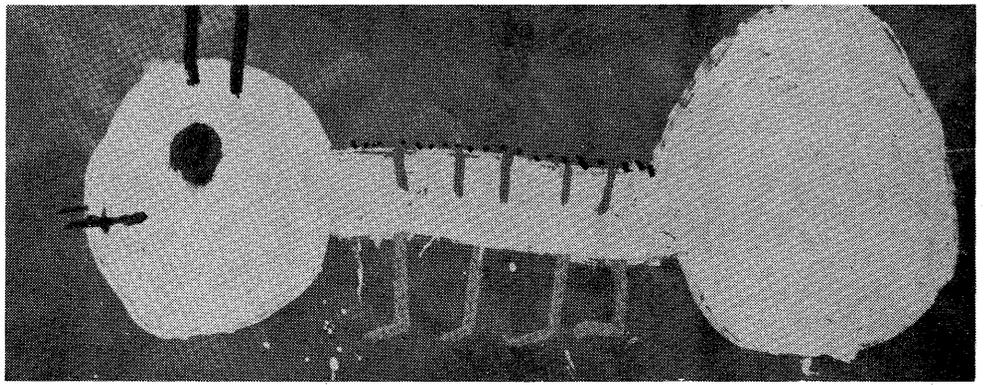
ちびっ子広場のために
土地をお貸しください
借用期間中は固定資産税を免除

◆とくにお貸しいただきたい地域
清水町、前田町、業平町、三条町、山手町、東山町、東山町、山手町、親王塚町、楠町、琴ヶ丘町

お申し出、お問い合わせは市土木公園課へ 電話②121内線280

飲酒運転をさせない
あさす、すりにご用心
水道管にも防寒具を
火の用心

年始のご用心



あり (幼児、男)

教育のページ

近かに
なつて
めがねを
かけた
男の子が
「うわー
とわーい
ひやかす
ぶさいくな顔
めがね
めがね」

めがね
「めがねなんかいやだ」
と
「でも、しょうがない」
と
「早く、みんな、私のめがねに
なれてくれないかな」

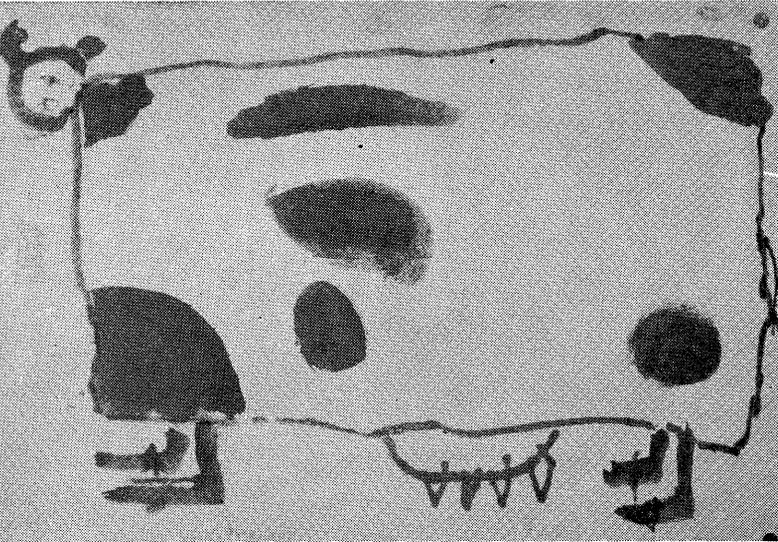
めがね

きょう
先生が
みんなわらった
わたしもわらった
先生じぶんもわらった
先生がいった
「小さいじは、みえない」
「大きいじは、みえる」
「みんなのかおも、みえる」
わたしもめがねを
かけてみたいなあ

（小学校一年、女）

こどもの作品の中から

こどもの絵や詩は心のまどです。
表現の技術よりも、その中にあるもの
をつかみとりたと思います。



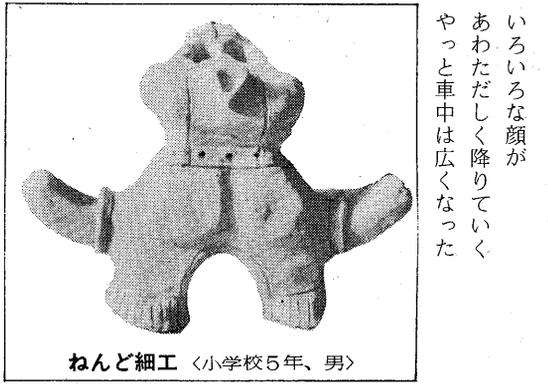
乳牛 (幼児、女)

お客さんが来た
お客さんに
おさけをついだ
スーッと 水をのむよう
にのんだ
またついであげた
ままと同じようにスーッ
とのんだ
3はい、4はいとどんど
んのでいく
ぼくはあきれながらおさ
けをついだ

5はい、6はいとのんで
いく
それにつれてどんどんお
さけがすくなくなる
7はい、8はいとのんで
いく
お客さんの顔が真赤にな
った
9はい10はい
とうとうよっぱらって
ねてしまった
このお客さんはほんとう
におさけがすぎだ

毎朝の通学のバス
次から次へといろいろな人が乗ってくる
いつも
ぎゅうぎゅう詰め合せて乗る
バスの中はむんむんして暑い
顔をしかめている人
足を踏まれておこっている人
思い出し笑いをしている人
ぶつぶつ独りごとを言っている人
おされてべちゃんこになっている人
一人ずつ見ていくと変化に富んでいる
国鉄駅前に着くと

（中学校二年、女）



ねんど細工 (小学校五年、男)

いろいろな顔が
あわただしく降りていく
やっと車中は広くなった

習字
（小学校四年、女）

「千里」と書く
手本の「千里」が
「むずかしくて、できないだろ
う」と言った
わたしは、ぐっとつばを飲んで
手本の「千里」をにらみつけた
「千里」が
「くやしかったら、書いてみる」
と、言った
わたしは
「よし、書くわ」
という気になって、手本とに
らめっこをしながら書いた
手が、ブルブルとふるえた
目は、「千里」と一直線だ
「何、負けるものか」
心と手は、なかなか同じにはな
らない
しっかりと書こう
がんばって、がんばって
やっと書けた
わたしは、手本の「千里」に向
かって
「ありがとう」
と、言った
手本の「千里」も
「よかったね」
とうなづいた

瑞氣集門

瑞氣集門
邦恵士

ボタンがとれた
（小学校六年、男）

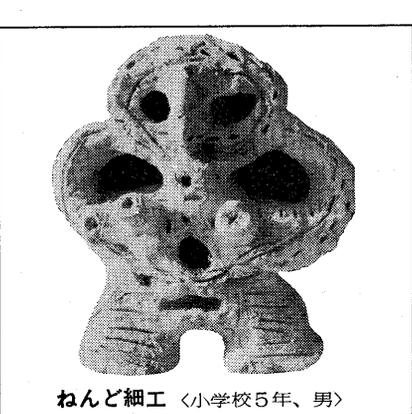
ブッキ！
えらいこっちゃ
ずぼんのボタンとれた
カッコわる
いっしょうけんめいに
上着をのぼしたり
とれたあいだに、棒をいれたりして
ふせいだ
なん回やっても
服は、あがるし
棒は、じきにはずれてしまう
ああ、はずかしい
手を、前にもっていったら
よけいに、はずかしい

たまご
（中学校二年、女）

この小さな中には
あたたかい生命がある
冷たい世界には
あまりにもやわらかすぎるから
固くとざされた中で
時の来るのを待っている
ほら、生命の息吹が聞こえてくる
力強いリズムが聞こえてくる
そこにあるのは、限らない可能
大空に飛びたつことも
楽しく歌うことも
あらゆる力になることのできるものが
この小さな中に秘められている

菊
（小学校五年、女）

小ばちから、中ばちへ
中ばちから、大ばちへ
毎日、朝、昼、水をやり
わき芽をとって、やっとさいいた菊
ぜんぶ黄色で、ちぢれ花
せはひくくて三本立て
一番上のだんに、かげにかくれて
さいている
せい高のつばにまぎれて
小さくなっている



ねんど細工 (小学校五年、男)

習字 (中学校三年、女)

参観日22日、小遠足下旬
【岩園小】書きぞめ展1月13、14日、保健委員会2月2日
【精道小】お正月会1月10日、参観日・おあさま教室23日
【宮川小】体位測定1月9、10日、PTA役員会19日、参観日20日
【山手小】参観日1月21日
【岩園小】体位測定1月9日、誕生会20日、こま回し大会22日、参観日27日
【精道小】校外児童会1月10日、PTA役員会12日、たこあげ13日、おもちつき14日、参観日23日、誕生会・こま回し大会24日
【山手小】校外児童会1月10日、参観日1月10日

少年書きぞめ大会
▼対象：小学校三年生から高校生
▼とき：一月十一日(日)午前八時三十分から受けつけ、九時開始
▼ところ：市立少年センター武道場(参加費：無料)もちもの：筆、ぶんちん(申し込み：青少年センター(電話0203558))

市民ハイキング
▼とき：一月十八日(日)雨のときは二十五日(集合：午前八時に阪急岩園川駅か、午前九時に阪急宝塚駅へ)コース：宝塚1船板橋1鳥居茶屋 最高峰7曲り1ロックガーデン1(声屋(十キロ))
▼会費：おとな五百円、子ども九十円(携持品：昼食、水筒、雨具)はきもの：登山シューズか運動シューズ(市教委、声屋登山主催)

市民ロード
▼とき：一月十四日(日)集合：午前八時半に市役所玄関前へ(コース：海岸沿いの五千九百回)参加資格：市内在住、在勤、在学者と市陸上競技会員で高校生以上の方(申込：市教委体育保健課(電話022211))へ。

市民発行の図書をお贈りください
図書館では市民のかたがたの発行された図書を集めており、ご寄贈いただいた図書は郷土資料として、整理保存し、市民全部の方々に読んでいただけるようにしています。市民の方で図書を発行されたときは、ぜひ図書館にご寄贈ください。お問い合わせは、
読書談話室 一月二十七日(火)午前十時から正午まで図書館で。
「さびしい王様」(北杜夫)を中心に話し合います。みなさんお気軽においでなさい。

市立 幼稚園児 募集

市立幼稚園では、こどもの4月に満4才、5才になれるお子様を対象に入園児を募集します。
1月16日から23日まで(土、日曜を除いて毎日午後1時～4時まで受付)に各市立幼稚園へお申し込みください。

お問い合わせは
各市立幼稚園が市教委管理課(電話02121内線333)へ

新年の お楽しみ

市民囲碁大会
●とき 1月25日(日)午前9時 ●ところ 市民会館
●申込 参加費300円を添えて23日までに公民館へ

市民かるた大会
●とき 1月25日(日)午後1時 ●ところ 市民会館
●申込 参加費100円(団体は200円)を添えて公民館へ

